

平成 22 年 度 決 算

事 業 概 要 報 告 書

決 算 報 告 書

財団法人 りそなアジア・オセアニア財団

# 事業報告書

(平成22年4月1日～平成23年3月30日)

## 概要

当財団が国際交流活動助成事業を開始して、約22年が経過しました。

この間、アジア・オセアニア諸国・地域に対する224件の案件が選考され、それらに対する助成金の累計は424百万円となりました。

本年度における助成事業につきましては、前年に引き続き、我が国及び海外の若手研究者への調査・研究助成に注力したほか、国際会議・シンポジウム等の開催事業への助成を行い、本報告書のP. 2～3に記載の通り実施した結果、本年度の助成事業は、14件で総額14百万円となりました。又、当財団としての初めての試みとして、10月7日に「東南アジア情勢最前線」と題するセミナーを実施しました。

財団運営においては、公益法人制度改革関連法に基づいて行われる「公益財団法人」への移行認定申請を9月30日に内閣府に対して行いました。その後内閣府との折衝や修正作業を終え、11月4日の公益認定等委員会での審議を経て、1月7日同委員会から内閣総理大臣への公益認定の答申がなされ、内閣府より公益財団法人として認定する「認定書」を受領しました。

当財団としては今年度中に設立登記をすべく、3月31日に旧法人の解散登記及び新法人の設立登記を完了しました。これをもって、財団法人りそなアジア・オセアニア財団は解散することになり、平成22年4月1日から平成23年3月30日までの事業について決算を行う事になりました。

これまでの活動を振り返りますと当財団は、我が国とアジア・オセアニア諸国との相互理解、親善交流に必要な政治、経済、文化、歴史等に関する調査研究への助成事業を実施すると共に、その活動を行う研究者に対する助成事業を行ってきました。お陰をもちまして、数多くの学者を輩出する等、若手研究者にとって登竜門的な特色のある財団として理解を得られることができたと考えております。

## I.事業実績

### 平成22年度に実施した具体的な助成事業

#### ●調査研究助成

##### 《我国及び海外の若手研究者によるアジア・オセアニア諸国、地域研究助成》

1. 旧南洋群島に暮らした沖縄出身移民のオーラルヒストリー  
—語られなかった経験と声を記録・共有するために— 910,000 円
2. 互酬性を生きる人々  
—トンガ社会の経済活動とそれをめぐる相互行為の分析— 730,000 円
3. 9～10世紀におけるクメール宗教建築の伽藍構成  
及び造営手法に関する基礎的研究 730,000 円
4. 婚姻移住者の増加が国家の移民政策に及ぼす影響  
—近年のオーストラリアの事例より— 500,000 円
5. 18世紀後半-19世紀前半のインド西部の植民地化による社会経済変化  
-マハーラーシュトラ州プネー県インダプール郡を事例に- 940,000 円
6. インドネシアのアラブ人協会「イルシャード」によるイスラーム改革主義運動  
-オランダ領東インド期の活動を中心に— 1,320,000 円
7. 現代中国における移民送出地に関する人類学的研究  
-福建省福州市を例として- 790,000 円
8. 中国古代漢字文化圏の初期形成過程とその歴史的背景  
—周代長江流域における漢字の受容と出土文字史料— 610,000 円
9. 中国人留日学生・華僑と日本:1945～1972年  
-対日外交の現場で働いていた対日工作者のオーラル・ヒストリー- 1,330,000 円
10. ラオスの高等教育における健康および環境に配慮した包括的な教育カリキュラム  
(エコヘルス教育カリキュラム)の開発と実践 1,690,000 円

11. 中国の新型農村医療保険制度での保険給付システムと 受診行動の関係の実証分析		450,000 円
	小計 11 件	10,000,000 円

●交流助成

《国際会議・シンポジウム等開催助成》

1. 21世紀における日米中間の安全保障協力を求めて		1,500,000 円
2. 現代日本のガバナンス		500,000 円
3. グローバル・ヒストリーの中の辛亥革命 国際学術討論会		1,000,000 円
4. 東アジア経済統合・域内インフラ整備と日本企業のビジネス・チャンス		1,000,000 円
	小計 4 件	4,000,000 円

22年度助成事業 計 14 件 14,000,000 円

平成22年度に実施したセミナー事業

平成22年10月7日

「東南アジア情勢最前線」

第1部 東南アジアでのビジネス展開

講師:アース製薬株式会社 常務取締役国際本部本部長 川村芳範氏

第2部 ASEANの政治・経済の現況

講師:アジア経済研究所 所長 白石隆氏

第3部 インドネシア進出企業最前線

講師:りそなブルダニア銀行社長 宮本昭洋氏

## II. 処務の概要

### 1. 会議

(理事会)

・第68回理事会(通常)

開催日 : 平成22年6月11日 於:りそな銀行東京本社ビル8階小会議室

出席者 : 理事全員

- 議案 :
- 1.平成21年度事業報告書及び収支決算報告書につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
  - 2.平成22年度収支予算及び事業計画の補正につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
  - 3.平成22年度(前期-追加)助成案件選考の件  
2件の助成が決定された。
  - 4.指定正味財産の計上につき承認を求める件及び制約の有無について了解を求める件  
全員異議なく了解された。
  - 5.公益法人への移行申請実施につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
  - 6.事業目的の変更につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
  - 7.定款の変更等につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
  - 8.最初の評議員選定手続きの決定につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
  - 9.最初の評議員選定委員会委員の推薦につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
  - 10.役員等就任予定者の決定につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。

・第69回理事会(臨時)

開催日 : 平成22年8月25日 於:第二野村ビル会議室

出席者 : 理事全員(書面表決者者含む)

- 議案 : 1.新理事長及び専務理事の選任につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
2. セミナー事業の内容について報告
3. 大喜多専務理事の辞任について報告

・第70回理事会(通常)

開催日 : 平成23年2月7日 於:りそな銀行東京本社ビル

出席者 : 理事全員(書面表決者者含む)

- 議案 : 1.指定正味財産の計上につき、寄附者の意向について確認・了解を求める件  
全員異議なく確認・了解された。
- 2.選考委員会の設置、選考委員会の規定の制定、  
選考委員会委員及び事務局長の選任について承認を求める件  
原案通り可決承認された。
3. 平成22年度(後期)助成案件選考の件  
9件の助成が決定された。
4. 平成22年度収支予算の補正につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
5. 平成23年度収支予算書並びに事業計画書につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 6.平成23年度(前期)助成案件選考の件  
2件の助成が決定された。
- 7.財団諸規定の取扱いにつき承認を求める件  
原案通り可決承認された。

(評議員会)

・第53回評議員会(通常)

- 開催日 : 平成22年6月11日 於:りそな銀行東京本社ビル
- 出席者 : 評議員全員
- 議案 : 1.平成21年度事業報告書及び収支決算報告書につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 2.平成22年度収支予算及び事業計画の補正につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 3.平成22年度(前期-追加)助成案件選考の件  
2件の助成が決定された。
- 4.指定正味財産の計上につき承認を求める件及び制約の有無について  
了解を求める件  
全員異議なく了解された。
- 5.公益法人への移行申請実施につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 6.事業目的の変更につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 7.定款の変更等につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 8.最初の評議員選定手続きの決定につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 9.最初の評議員選定委員会委員の推薦につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 10.役員等就任予定者の決定につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。

・第54回評議員会(臨時)

- 開催日 : 平成22年8月25日 於:第二野村ビル会議室
- 出席者 : 評議員全員(書面表決者者含む)
- 議案 : 1.新役員の選任につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 2.セミナー事業の内容について報告
- 3.大喜多専務理事の辞任について報告

・第55回評議員会(通常)

- 開催日 : 平成23年2月7日 於:りそな銀行東京本社ビル
- 出席者 : 評議員全員(書面表決者者含む)
- 議案 : 1.指定正味財産の計上につき、寄附者の意向について確認・了解を求める件  
全員異議なく確認・了解された。
- 2.選考委員会の設置、選考委員会の既定の制定、  
選考委員会委員及び事務局長の選任について承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 3.平成22年度(後期)助成案件選考の件  
9件の助成が決定された。
- 4.平成22年度収支予算の補正につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 5.平成23年度収支予算書並びに事業計画書につき承認を求める件  
原案通り可決承認された。
- 6.平成23年度(前期)助成案件選考の件  
2件の助成が決定された。
- 7.財団諸規定の取扱いにつき承認を求める件  
原案通り可決承認された。

・最初の評議員選定委員会

- 開催日 : 平成22年8月19日 於:りそな銀行本社ビル会議室
- 出席者 : 評議員選定委員全員
- 議案 : 1.議長選出の件  
原案通り可決承認された。
- 2.最初の評議員選任の件  
原案通り可決承認された。



## 2.登記

大阪法務局に対し、次の登記を行った。

平成22年8月4日	理事の異動登記
(平成23年3月31日	公益財団への移行認定登記)

## 3.届出

外務大臣に提出

平成22年6月22日	平成22年度事業計画書について変更届出
平成22年8月16日	理事異動届
平成23年3月14日	平成22年度事業計画書について変更届出

## 4.提出

外務大臣に提出

平成22年6月22日	平成21年度事業概要報告書等の提出
平成21年2月24日	平成22年度事業計画書等の提出

## 5.申請

外務大臣に申請

平成22年6月22日	最初の評議員の選任に関する理事の定めへの認可の申請
平成22年7月1日	外務省認可

内閣府に申請

平成22年9月30日	移行認定の申請
平成23年3月22日	移行認定
(平成23年3月31日	移行認定登記完了)

## 6.報告

該当なし

## 7.就退任

該当なし

# 貸借対照表

(平成 23年 3月 30日 現在)

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金預金	1,661,077	4,429,466	△ 2,768,389
流動資産合計	1,661,077	4,429,466	△ 2,768,389
<b>2 固定資産</b>			
<b>基本財産</b>			
定期預金	3,281,000	3,735,000	△ 454,000
投資有価証券	970,552,500	1,005,812,900	△ 35,260,400
基本財産合計	973,833,500	1,009,547,900	△ 35,714,400
<b>その他固定資産</b>			
敷金	2,856,000	2,916,000	△ 60,000
建物付属設備	788,372	836,639	△ 48,267
ソフトウェア	559,580	0	559,580
その他固定資産合計	4,203,952	3,752,639	451,313
固定資産合計	978,037,452	1,013,300,539	△ 35,263,087
<b>資 産 合 計</b>	979,698,529	1,017,730,005	△ 38,031,476
<b>II 負債の部</b>			
<b>流動負債</b>	0	0	0
未払費用	16,770	0	16,770
<b>固定負債</b>	0	0	0
<b>負 債 合 計</b>	16,770	0	16,770
<b>III 正味財産の部</b>			
<b>1. 指定正味財産</b>			
指定正味財産合計	978,037,452	0	978,037,452
(うち基本財産への充当額)	【973,833,500】	【0】	【973,833,500】
<b>2. 一般正味財産</b>			
一般正味財産合計	1,644,307	1,017,730,005	△ 1,016,085,698
(うち基本財産への充当額)	【0】	【1,009,547,900】	【△1,009,547,900】
<b>正味財産合計</b>	979,681,759	1,017,730,005	△ 38,048,246
<b>負債及び正味財産合計</b>	979,698,529	1,017,730,005	△ 38,031,476

## 正味財産増減計算書

平成22年4月1日から平成23年3月30日まで

(単位：円)

科 目	当年度 (H22. 4. 1～23. 3. 30)	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経営増減の部			
(1) 経常利益			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	19,633,697	16,450,968	3,182,729
② 雑収益			
受取利息	1,977	2,519	△ 542
受取寄付金収入	4,800,000	9,300,000	△ 4,500,000
定期預金等	0	147	△ 147
経常収益計	24,435,674	25,753,634	△ 1,317,960
(2) 経常費用			
① 事業費			
助成金	13,875,733	11,000,000	2,875,733
雑費 (セミナー事業)	436,380		436,380
旅費交通費 (セミナー事業)	41,900		41,900
② 管理費			
会費	147,993	579,366	△ 431,373
旅費交通費	3,553,896	2,256,612	1,297,284
通信運搬費	337,859	650,263	△ 312,404
減価償却費	88,237	32,178	56,059
消耗什器備品費	206,203	1,127,049	△ 920,846
消耗品費	107,027	339,067	△ 232,040
印刷製本費	368,256	47,263	320,993
新聞図書費	131,879	156,658	△ 24,779
機械保守料	0	0	0
光熱水料費	171,100	121,699	49,401
貸借料	3,660,300	2,390,115	1,270,185
租税公課	0	3,200	△ 3,200
雑費	1,336,757	783,315	553,442
雑費(原状回復費用)	0	435,750	△ 435,750
支払手数料 (コンサル・フィー)	0	640,500	△ 640,500
経常費用計	24,463,520	20,563,035	3,900,485
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 27,846	5,190,599	△ 5,218,445
基本財産評価損益等	△ 38,020,400	9,547,900	△ 47,568,300
評価損益等計	△ 38,020,400	9,547,900	△ 47,568,300
当期経常増減額	△ 38,048,246	14,738,499	△ 52,786,745
当期一般正味財産増減額	△ 1,016,085,698	0	△ 1,016,085,698
指定正味財産への振替額	△ 978,037,452	0	△ 978,037,452
一般正味財産期首残高	1,017,730,005	0	1,017,730,005
一般正味財産期末残高	1,644,307	1,017,730,005	△ 1,016,085,698
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益			
基本財産受取利息	19,633,697	0	19,633,697
一般正味財産への振替額	△ 19,633,697	0	△ 19,633,697
当期指定正味財産増減額	978,037,452	0	978,037,452
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	978,037,452	0	978,037,452
III 正味財産期末残高	979,681,759	1,017,730,005	△ 38,048,246

# 財務諸表に対する注記

## 1 重要な会計方針

### (1) 公益財団法人への移行に伴う事業年度

平成23年3月31日付け公益財団法人への移行登記に伴い、一般社団法人及び一般財団法人に関する法律及び公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律の施行に伴う関係法律の整備等に関する法律施行規則第2条に基づき、特例財団法人としての最終事業年度は平成22年4月1日から平成23年3月30日までである。

### (2) 有価証券の評価基準及び評価方法

決算日の市場価額等に基づく時価法によっている。

### (3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産・無形固定資産・・・定額法によっている。

### (4) 消費税の会計処理

消費税の会計処理は、税込方式によっている。

## 2 基本財産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	評価損益	当期末残高
投資有価証券	1,005,812,900	100,000,000	97,240,000	△ 38,020,400	970,552,500
定期預金	3,735,000	0	454,000	0	3,281,000
合計	1,009,547,900	100,000,000	97,694,000	△ 38,020,400	973,833,500

## 3 基本財産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
投資有価証券	970,552,500	970,552,500	0	0
定期預金	3,281,000	3,281,000	0	0
合計	973,833,500	973,833,500	0	0

## 4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
その他固定資産(建物付属設備)	868,817	80,445	788,372
その他固定資産(ソフトウェア)	599,550	39,970	559,580
合計	1,468,367	120,415	1,347,952

## 5 担保に供している資産

該当なし。

## 6 保証債務等の偶発債務

該当なし。

## 7 重要な後発事象

該当なし。

# 財 産 目 録

(平成 23年 3月 30日 現在)

(単位：円)


科 目	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金預金			
現金			
普通預金 りそな銀行 大阪営業部	1,661,077		
流 動 資 産 合 計		1,661,077	
2 固定資産			
基本財産			
定期預金 りそな銀行 大阪営業部	3,281,000		
投資有価証券	【970,552,500】		
利付国債 長期国債 41回	104,069,000		
利付国債 長期国債 260回	104,150,900		
利付国債 長期国債 93回	102,226,000		
利付国債 長期国債 108回	99,080,000		
政府保証 第7回日本高速道路保有・ 債務返済機構債券	102,219,000		
政府保証 第3回日本高速道路保有・ 債務返済機構債券	105,749,600		
政府保証 第9回日本高速道路保有・ 債務返済機構債券	102,298,000		
社 債 三菱東京UFJ銀行第24回 (劣後特約付)	96,918,000		
ムラヨロツパ フィナンスエスアイ No.571	88,620,000		
パークレイズバンク・マンチコーラブル・ワーリハーステム債	65,222,000		
基本財産合計	973,833,500		
その他固定資産			
敷 金	2,856,000		
建物附属設備	788,372		
ソフトウェア	559,580		
固 定 資 産 合 計		978,037,452	
資 産 合 計			979,698,529
II 負債の部			
流動負債・固定負債			
未払費用	16,770		
負 債 合 計		16,770	16,770
正 味 財 産			979,681,759


平成23年5月16日

財団法人 りそなアジア・オセアニア財団

理事長 野村 正朗 殿

財団法人 りそなアジア・オセアニア財団

監事 荒川 洋 

監事 小田原 岸夫 

### 監査報告書

民法第59条及び財団寄附行為第18条4項の規定に基づき、平成22年度決算にかかる財産、会計及び業務の執行について監査実施したところ、平成22年度の財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）は正確であり、また報告の内容は真実であること、並びに理事の業務執行は適正に行われていることを認め、ここに報告いたします。

以上